



パーパス

最近「パーパスが大切」などと耳にしますが、『企業の存在理由』を指す言葉だそうですね。

毎日いろいろな人の話をお聴きしていますが、「それはどういう意味ですか？」と尋ねることが増えています。ビジネス用語だったり、オンラインゲームの世界のルールだったり、新しいIT技術だったりして、知らないことがたくさんあると感じています。

同時にそこから思うこともあります。「今年の新人は何を考えているかわからない」とか、「Z世代は扱いづらい」というご不満もよく耳にしますが、逆に「昭和の考えはやばい」とか「上司の決めつけがうざい」などもお聴きします。よくよく聴いていると、お互いの言葉が通じていないと感じることがあり、思わず通訳をします。

旧約聖書に出てくる、その昔、人間はみんな同じ言葉でコミュニケーションをとっていたのに、神の怒りに触れて、お互いの言葉が通じなくなってしまったというお話を思い出してしまいます。

そうそう『パーパス』でした。

私はカウンセラーという職業についてからずっと、自分たちのパーパスについて考え続けています。企業ではありませんが、カウンセラーという職業が存在している理由は何か？

病院では、お医者さんと患者さんの間で行われる治療にわざわざ介入していたり、学校では、担任や顧問の先生と生徒の間に入ったり、もちろん、求められてそうしているとはいえ、自分が余計な登場人物ではないだろうと思うことが少なくありません。

児童相談所には福祉士さんが相談に乗っているのに、心理担当も意見を述べます。職場によっては産業医さんのほかにカウンセラーがお話を聴く場が用意されています。

非行少年たちの補導をされる警察の方たちと心理の専門家が連携を取ることもあります。

私の知る限りですが、先に挙げたような、それぞれの領域の専門家の隙間で、自分の専門性を発揮している心理カウンセラーは確かに存在しています。

『マネジメント』で有名な、ドラッカーという人は、企業の目的を「顧客の創造」と言ったそうですね。

顧客とは、私たちカウンセラーの使う言葉で『クライアント』と呼びます。カウンセラーという仕事の目的がクライアントを作り出すことだと考えると、複雑な気持ちになります。人の悩みや、人々が抱える問題を解決することが、カウンセラーという職業の『パーパス（存在理由）』だとすると、悩みや問題を抱えた人たち（クライアント）を創り出すことを目的としてしまうことはマッチポンプ的ではないかと思われます。

自分で火事をおこすことで、活躍の場を得る消防隊員のような話になってしまうではないですか。

様々な領域で活躍している心理カウンセラーがいる一方で、余計な仕事を増やしていないか？と思えるカウンセラーもいると思っています。

『顧客の創造』とは深い言葉だと思います。企業が活動できるのは顧客が存在するからですし、多くの顧客のニーズに応える企業は存在意義が大きいといえます。

そこに、新たなニーズを生み出したり、すでにあるけれどまだ見えていないニーズを引き出したりすることで、これまで顧客ではなかった顧客を獲得するために、企業は研鑽を積むのでしょう。

ここで重要なことに気づきます。カウンセラーがカウンセリング（仕事）をしたいがためにクライアント（顧客）を創造しようとしてしまうと、人々を悩ませ、余計な仕事を増やす





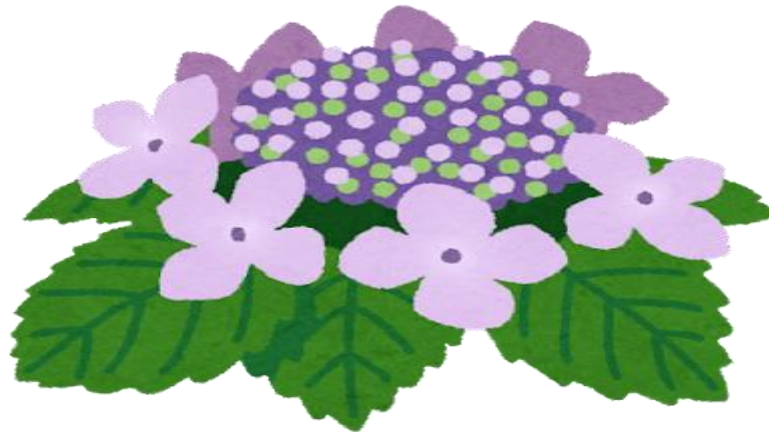
人として社会を乱してしまいます。しかし、ご自分では気づくことのできなかった『悩みや問題』をご一緒にみつめていくことをカウンセリングだと考えると、確かに『顧客（クライアント）の創造』を目的としているともいえます。

部下についてのご相談が、いつの間にかご自身の家庭の悩みの解決に向かわれることはありますし、復職についてのご相談から始まったカウンセリングがいつのまにか転職相談になっていることもあります。

「企業が売りたいものを売る」のではなく、「顧客が買いたいものを売る」ことが『顧客の創造』だとすると、この図式を、カウンセラーのそれに当てはめるとちょっとややこしいですね。

言うなれば「カウンセラーがしたいカウンセリングをする」のではなく、「クライアントが幸福になるためにカウンセリングをする」ということなのですが、この『クライアントの幸福』というのが非常に難しいです。ご本人が「幸福です」と仰っていても私からは全くそうは見えないこともあります。周囲から「幸福ですね」とうらやましがられてもご本人には全くそう思えないというときもあります。または、カウンセリングを何年か続けておられる人から初めに願ったこととは違うけれど「今、とても幸福です」と言われることがあります。どうやら『幸福』いくつもあるようです。そうなってくると、さまざまな人々のあらゆる『幸福』の可能性を模索して実践してゆくことがカウンセラーとしての『パーパス』なのかなと思えてきました。今朝一番にお会いした方の『幸福』と今夜最後にお会いした人の『幸福』は真逆だったりもします。

ひとつの言葉が人によって異なる意味を持ってしまう社会の中で、どの人も『幸福』であることを願いつつその難しさをかみしめます。



発行 本山社会保険労務士事務所 東京都杉並区井草 1-2-1 1-3 0 2

発行年月日 令和 6 年 7 月

*筆者は現在クリニックでカウンセラーをされています。

仕事の関係上氏名の公表は控えさせていただきます。

Copyright (C) 2024 本山社会保険労務士事務所 All Rights Reserved

